

2013年11月21日

株式会社リクルート住まいカンパニー

## 2013年 注文住宅動向・トレンド調査

全国の多世帯住宅<sup>(※)</sup>検討者のうち、3階建て以上の住宅を検討している割合は15.4%。  
一住居あたりの同居世帯が増えるほど多層階への検討率が高い。

※一住居あたりに二世帯以上の複数世帯で住んでいる住宅

株式会社リクルート住まいカンパニー（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：野口孝広）は、注文住宅の建築者、検討者を対象に調査を実施しました。2013年の調査結果の一部を抜粋してご報告申し上げます。

### 調査トピックス

#### 家づくり全体の動向トレンドについて

- 注文住宅建築者（全国）の建築費用は平均2,677万円。頭金は平均856万円でほぼ前年横ばい、親からの贈与額は同320万円（いずれも0円を除いた平均）。（P4-5）
- 注文住宅検討者（全国・一次取得）の建築検討のきっかけは、1位「いつかは一戸建てに住みたいと思っていた」（24.0%）、2位「子どもが成長した」（23.5%）、3位「家が手狭になった」（22.3%）。「親（または子）との同居」は対前年で2.5ポイント上昇。（P6）

#### 多世帯住宅<sup>(※)</sup>・多層階の動向トレンドについて

- 注文住宅検討者（首都圏）における多世帯住宅の検討割合は25.1%。  
多世帯住宅の検討理由は「親の老後のことを考えたから」が最多。（P12）
- 注文住宅検討者（全国）のうち、多世帯住宅検討者における3階建て以上の住宅検討割合は15.4%。一住居あたりの同居世帯が増えるほど多層階の住宅検討率が高い。（P13）
- 注文住宅 建築者（全国・多世帯住宅）のうち、「住居費や生活費が削減できた」子世帯は34.2%。「削減できた」と答えた子世帯の平均削減金額は、住居費で24,942円、食費で15,908円。 ※平均額は0円を含んだ額 （P17）

※一住居あたりに二世帯以上の複数世帯で住んでいる住宅

リクルート住まいカンパニーはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けていきます

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルート住まいカンパニー 企画統括室統括部 広報グループ  
TEL: 03-6835-5290 E-mail: [suumo\\_press@r.recruit.co.jp](mailto:suumo_press@r.recruit.co.jp)

## 調査概要（2013年注文住宅動向・トレンド調査）

- 調査目的 注文住宅の建築者／検討者（建築予定者）の意識や行動の把握
- 調査対象 下記条件を満たすマクロミルモニターの男女個人

【建築者】 1年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の建築をした者

【検討者】 今後2年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の購入を検討している者  
\* 上記いずれも本人または家族が下記職業の者を除外  
住宅メーカーまたは販売、不動産・建設関連、広告代理店・市場調査関連

※回収後、回答者の居住地により下記の通り区分し、分析した。

### ■ 有効サンプル数 (人)

		地域		
		首都圏	その他	計
種別	建築者	464	1,549	2,013
	検討者	467	1,554	2,021

[首都圏] 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県

[その他] 上記首都圏以外の43道府県

- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 調査時期 スクリーニング調査：2013年8月28日（水）～9月8日（日）  
本調査：2013年9月7日（土）～9月10日（火）
- スクリーニング調査対象 400,000人
- 本調査有効回答数 4,034サンプル（全国）
- 調査実施機関 株式会社マクロミル

《調査結果を見る際の注意点》

\* %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため%の合計が100%と一致しない場合がある

\* 異常値を除外して集計しているため分母の数が異なる場合がある

《多世帯住宅の定義》

一住居あたりに二世帯以上の複数世帯で住んでいる住宅

《スマートハウスに関する設問においては、調査対象者に下記の定義を記載》

スマートハウスの定義

1. 省エネ：省エネ等級4orトップランナー基準or次世代省エネ基準をクリアしていること
2. 創エネ：太陽光発電・家庭用燃料電池エネファームなどの自家発電装置を使用していること
3. 蓄エネ：鉛・リチウムイオン・PHVなどの電気をためておける仕組みがあること  
または、現在研究開発中であることを言及できること
4. HEMS：ITを使ってエネルギーを集中コントロールする機器で電気の利用状況が可視化されていること  
→スマートハウスは、上記4点の組み合わせにより構成される。

## 調査概要（2012年 注文住宅動向トレンド調査）

- 調査目的 注文住宅の建築者／検討者（建築予定者）の意識や行動の把握
- 調査対象 下記条件を満たすマクロミルモニターの男女個人
  - 【建築者】 1年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の建築をした者
  - 【検討者】 今後2年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の購入を検討している者
  - \* 上記いずれも本人または家族が下記職業の者を除外
  - 住宅メーカーまたは販売、不動産・建設関連、広告代理店・市場調査関連

※回収後、回答者の居住地により下記の通り区分し、分析した。

■ 有効サンプル数 (人)

		地域		
		首都圏	その他	計
種別	建築者	464	1,551	2,015
	検討者	434	1,572	2,006

[首都圏] 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県

[その他] 上記首都圏以外の43道府県

- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 調査時期 スクリーニング調査：2012年9月6日（木）～9月12日（水）  
本調査：2012年9月15日（土）～9月18日（火）
- スクリーニング調査対象 353,007人
- 本調査有効回答数 4,021サンプル（全国）
- 調査実施機関 株式会社マクロミル

## 調査概要（2011年 注文住宅動向トレンド調査）

- 調査目的 注文住宅の建築者／検討者（建築予定者）の意識や行動の把握
- 調査対象 下記条件を満たす楽天リサーチモニターの男女個人
  - 【建築者】 1年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の建築をした者
  - 【検討者】 今後2年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の購入を検討している者
  - \* 上記いずれも本人または家族が下記職業の者を除外
  - 住宅メーカーまたは販売、不動産・建設関連、広告代理店・市場調査関連

※回収後、回答者の居住地により下記の通り区分し、分析した。

■ 有効サンプル数 (人)

		地域		
		首都圏	その他	計
種別	建築者	398	1,217	1,615
	検討者	318	682	1,000

[首都圏] 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県

[その他] 上記首都圏以外の43道府県

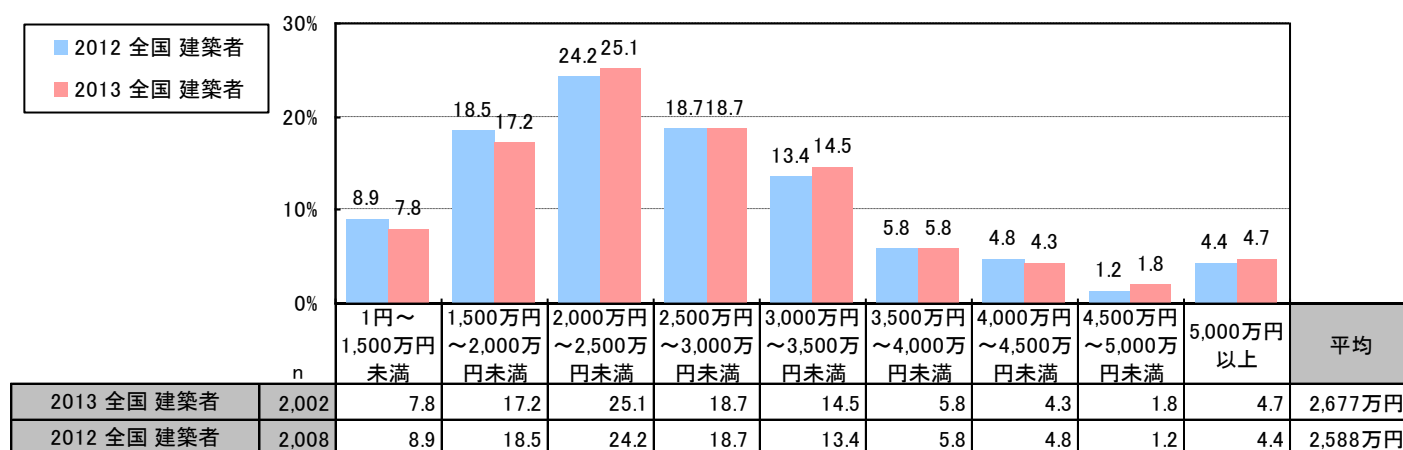
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 調査時期 2011年9月22日（木）～9月30日（金）  
(スクリーニング調査～本調査：一体実施)
- 有効回答数 2,615サンプル（全国）
- 調査実施機関 楽天リサーチ株式会社

# 1 家づくりの建築費用 <建築者（全国）／建築者（首都圏）>

- 建築者（全国）の**建築費用は平均2,677万円**。ボリュームゾーンは前年同様2,000万円以上2,500万円未満である。
- 建築者（首都圏）の建築費用は平均2,947万円。

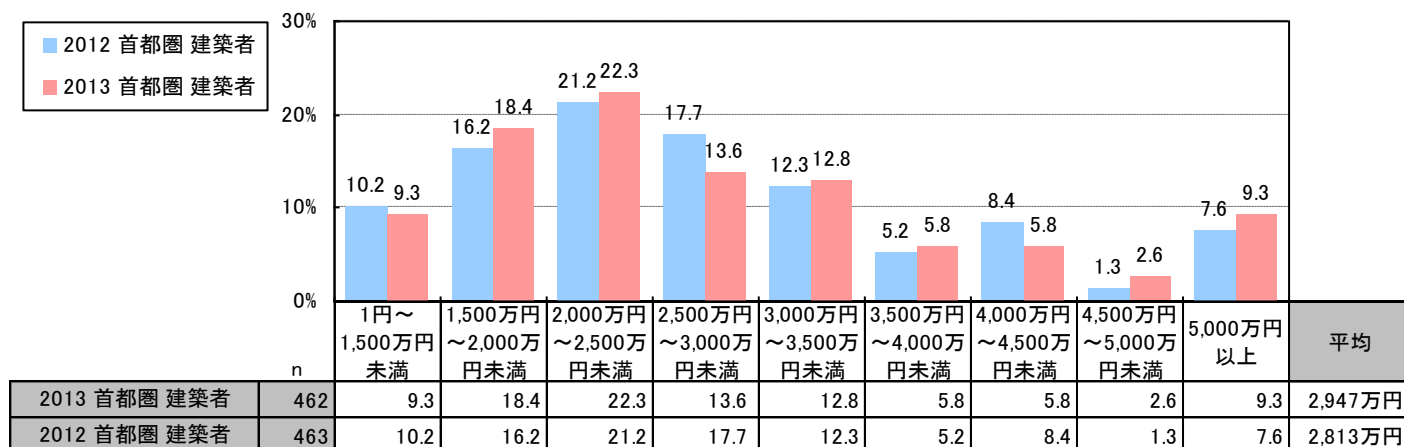
## ① 建築費用 建築者（全国）

【数値自由回答】



## ② 建築費用 建築者（首都圏）

【数値自由回答】



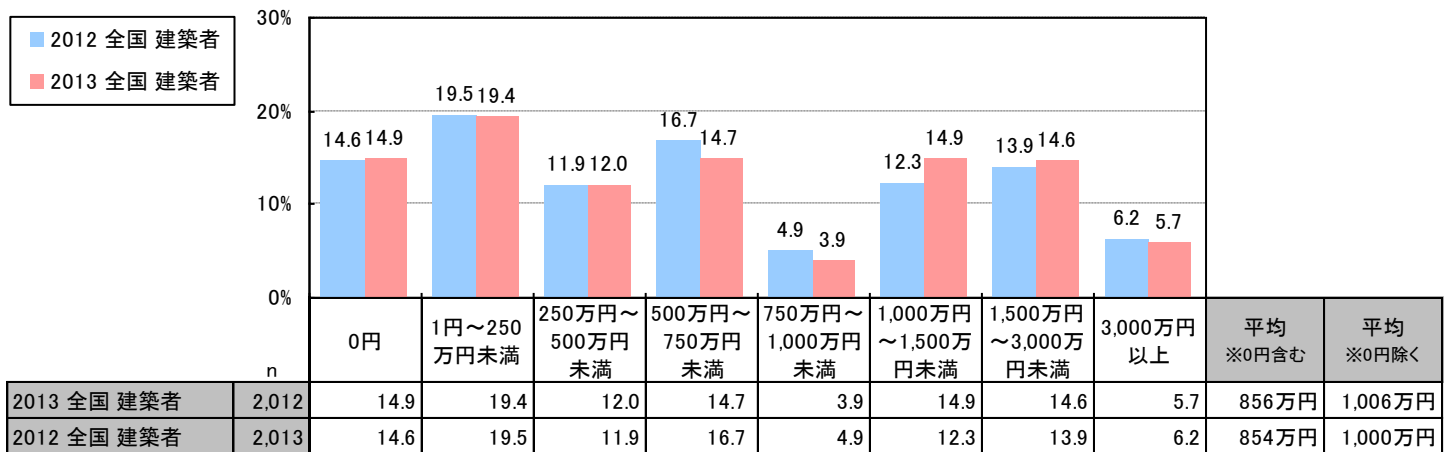
## 2 家づくりの頭金・親からの贈与額 <建築者（全国）>

- 建築者（全国）の頭金は**平均856万円**で前年と横ばい。
- 建築者（全国）の親からの贈与額は**平均320万円**。  
（いずれも土地代は除く）

※平均額は0円を含んだ額

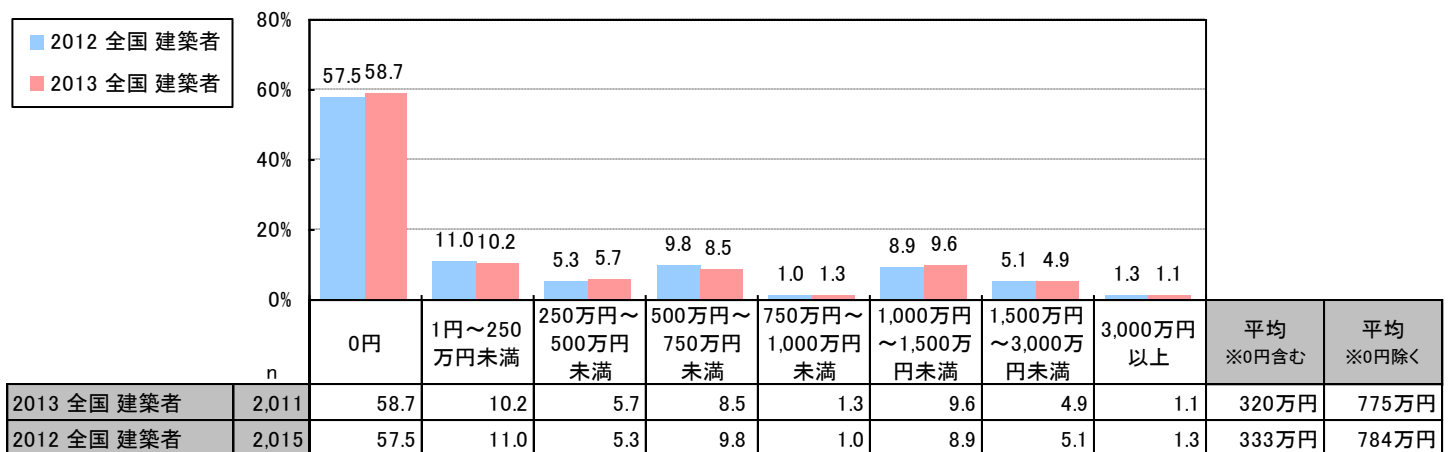
### ①頭金 建築者（全国）

【数値自由回答】



### ②親からの贈与額 建築者（全国）

【数値自由回答】



### 3-1 家づくりのきっかけ <検討者（全国・一次取得）>

● 検討者（全国・一次取得※）の家づくりのきっかけは、1位「いつかは一戸建てに住みたいと思っていた」（24.0%）、2位「子どもが成長した」（23.5%）、3位「家が手狭になった」（22.3%）。

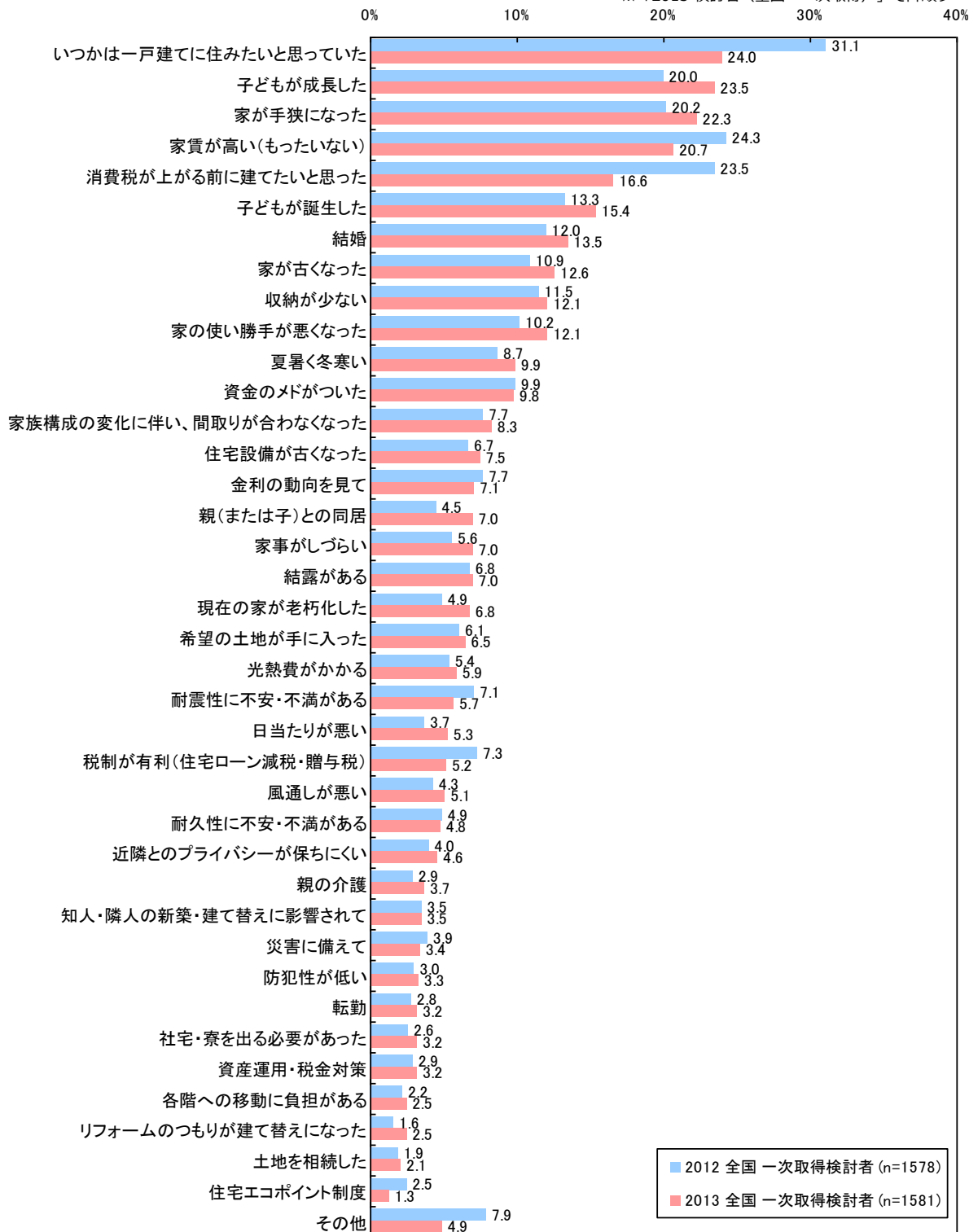
※既存の住居を解体し、新しく建て替える以外の住宅

◇「親（または子）との同居」は対前年で2.5ポイント上昇。

#### 家づくりのきっかけ 検討者（全国・一次取得）

【複数回答】

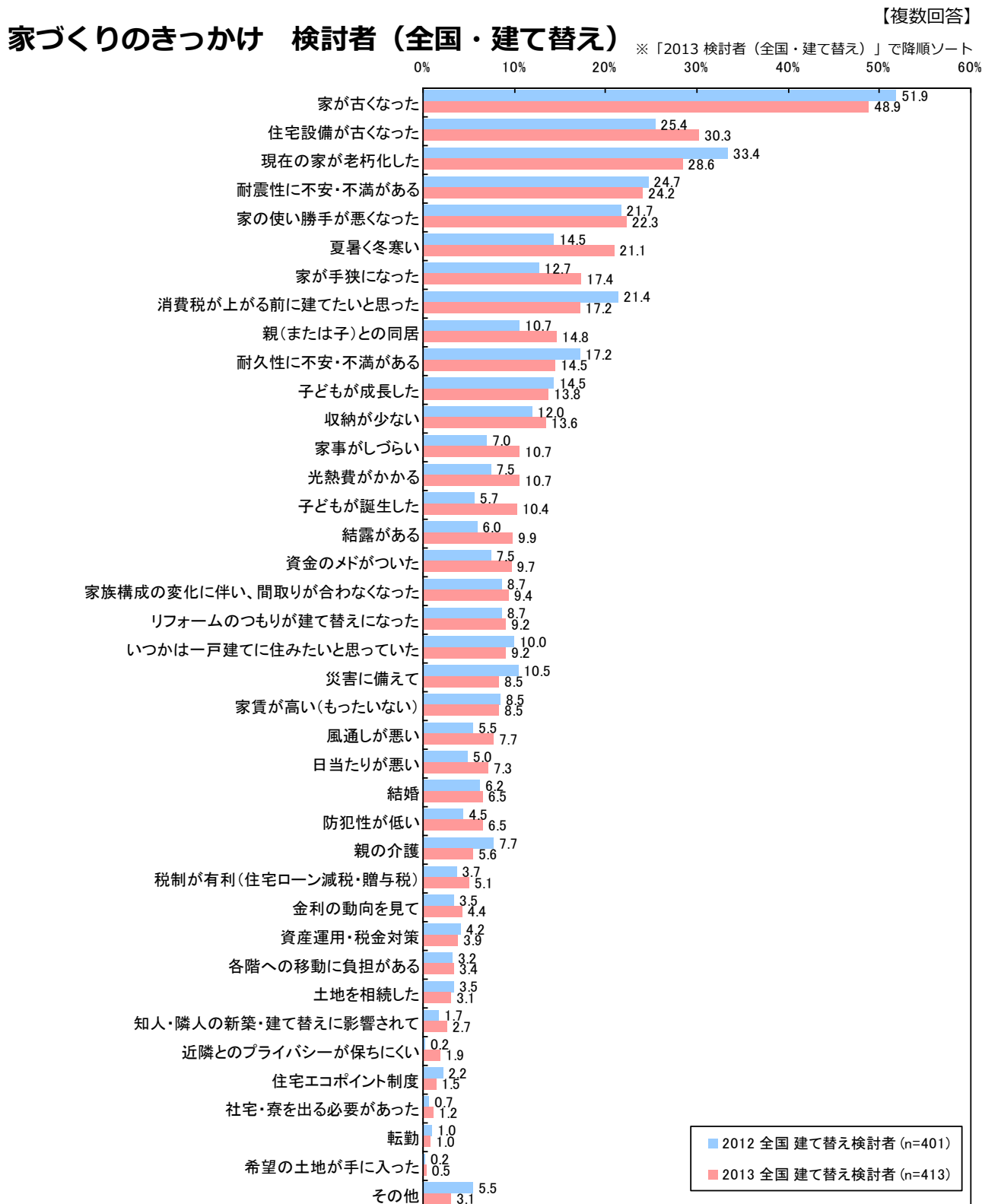
※「2013 検討者（全国・一次取得）」で降順ソート



### 3-2 家づくりのきっかけ <検討者（全国・建て替え）>

● 検討者（全国・建て替え）の家づくりのきっかけは、1位「家が古くなった」（48.9%）、2位「住宅設備が古くなった」（30.3%）、3位「現在の家が老朽化した」（28.6%）。

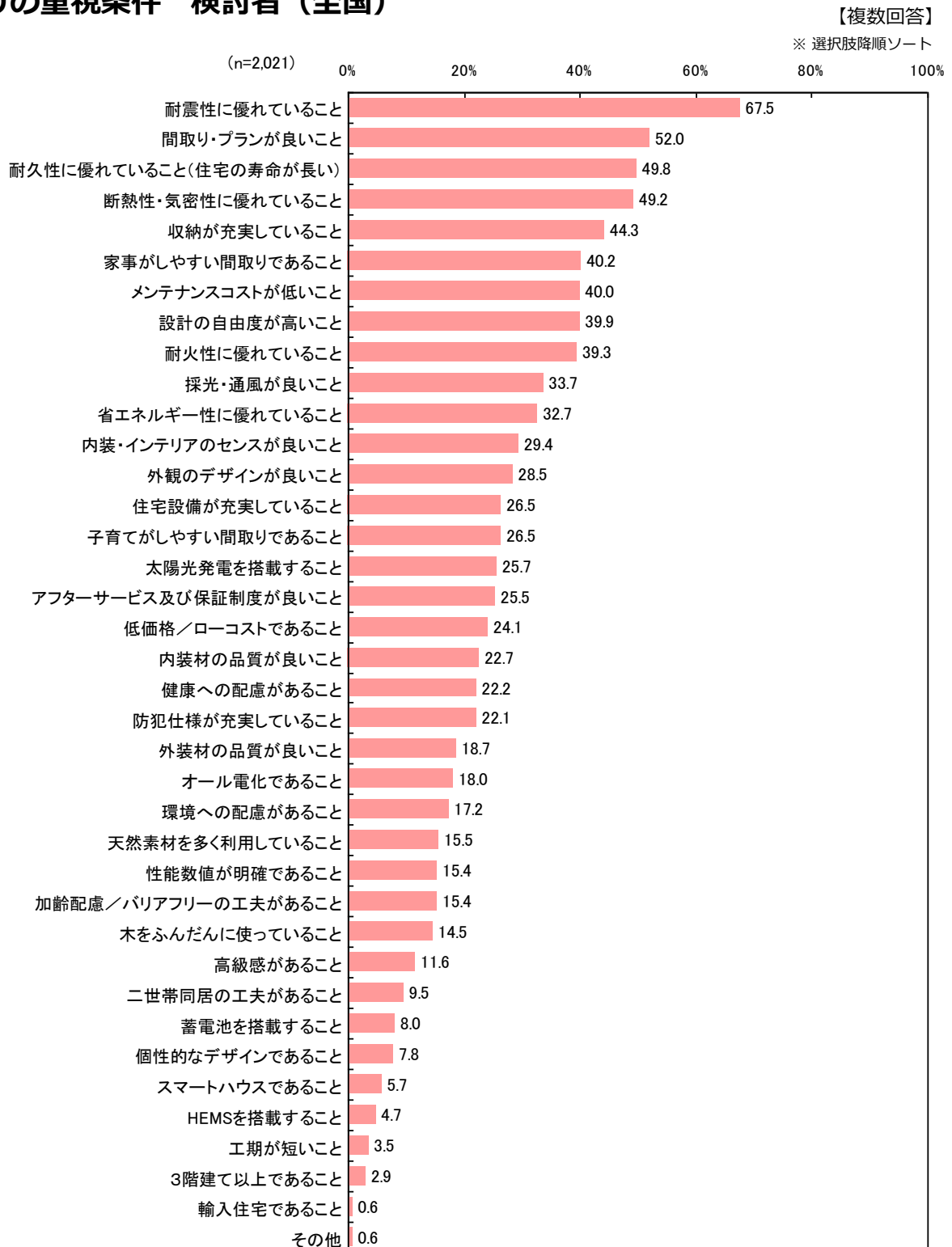
◇「親（または子）との同居」は対前年で4.1ポイント上昇。



## 4-1 家づくりの重視条件 <検討者（全国）>

● 検討者（全国）の家づくりの重視条件は、1位「耐震性に優れていること」（67.5%）、2位「間取り・プランが良いこと」（52.0%）、3位「耐久性に優れていること」（49.8%）。

### 家づくりの重視条件 検討者（全国）

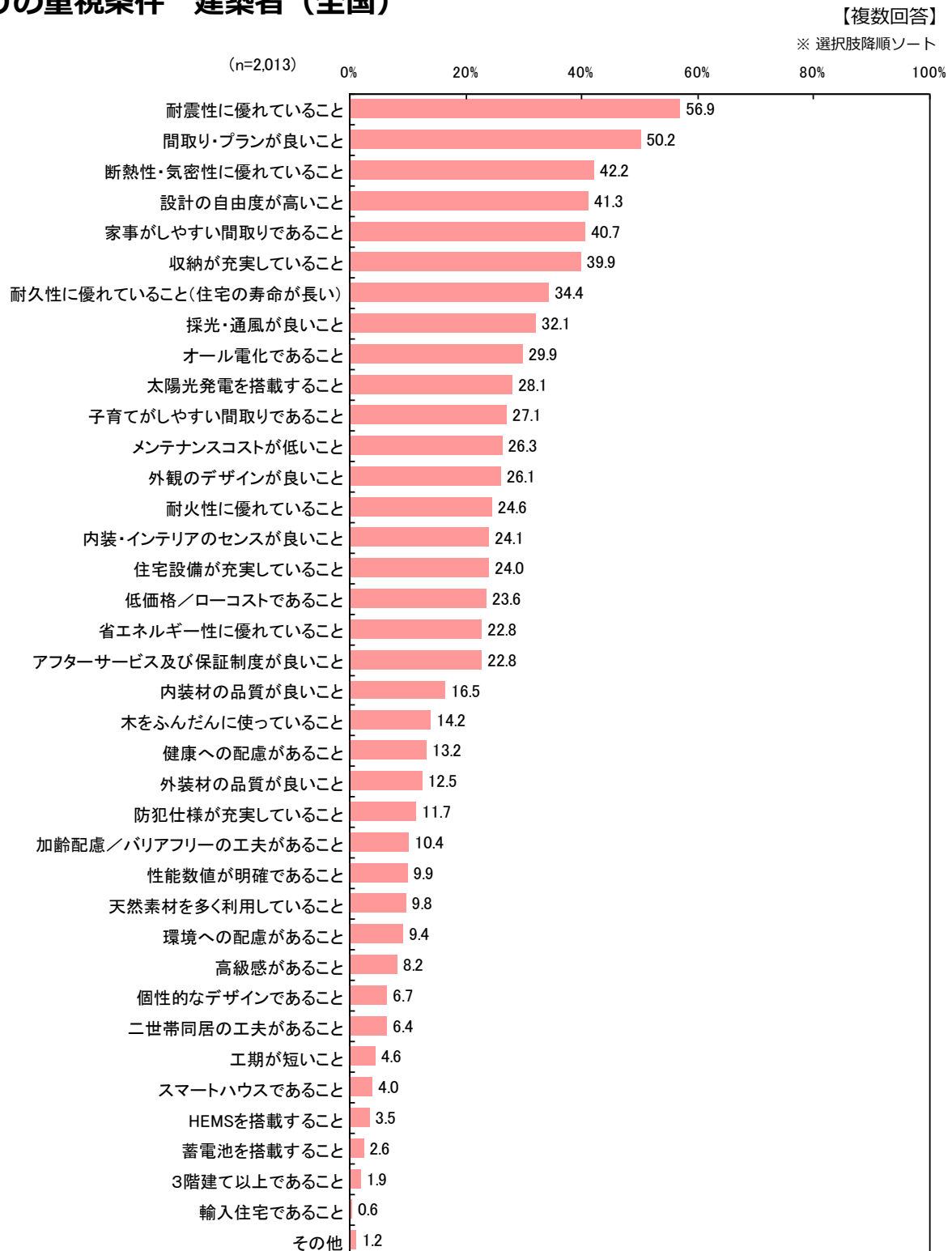




## 4-2 家づくりの重視条件 <建築者（全国）>

● 建築者（全国）の家づくりの重視条件は、1位「耐震性に優れていること」（56.9%）、2位「間取り・プランが良いこと」（50.2%）、3位「断熱性・気密性に優れていること」（42.2%）。

### 家づくりの重視条件 建築者（全国）

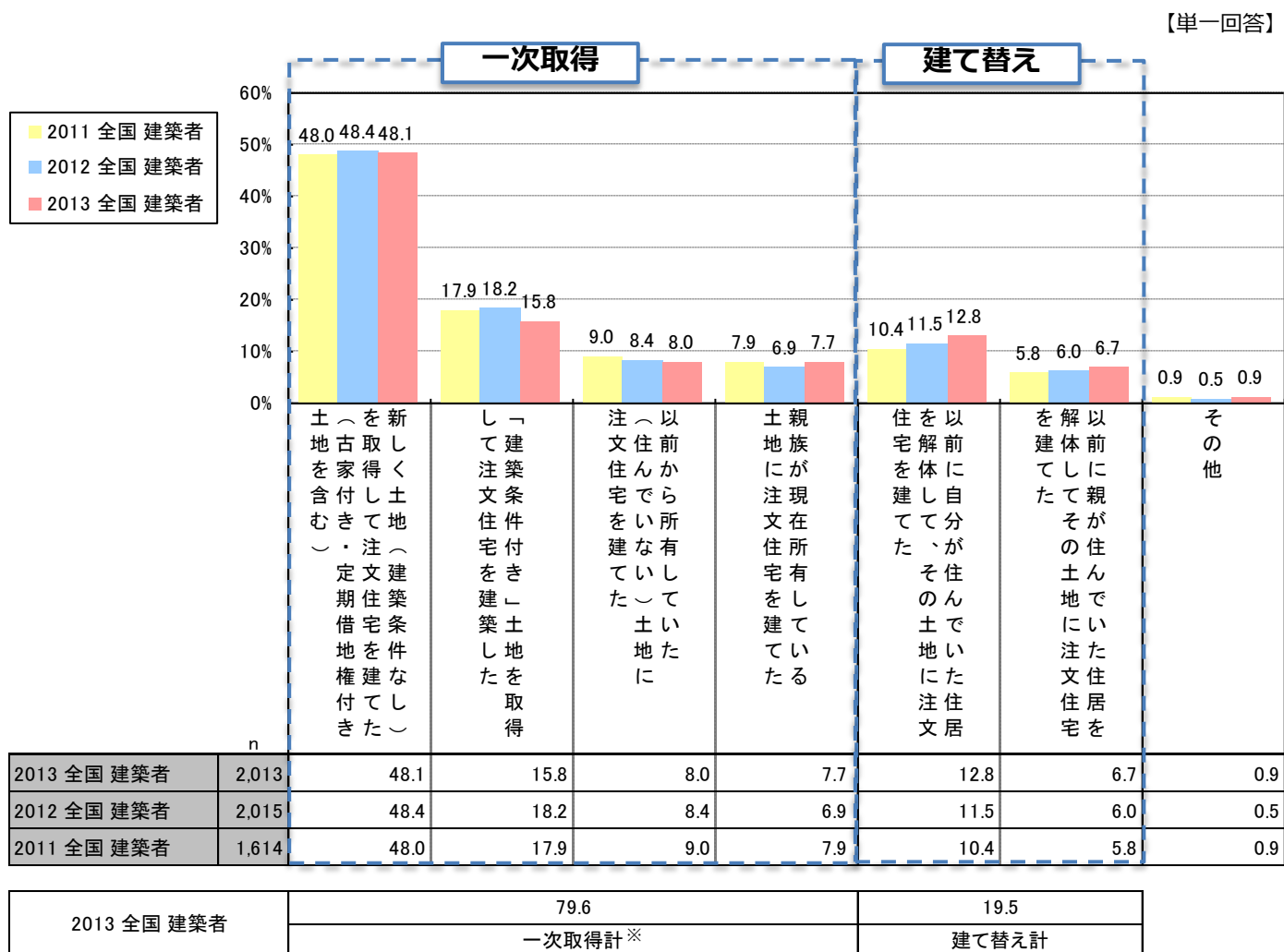


## 5-1 新居を建築した土地について <建築者（全国）>

● 建築者（全国）の土地取得の有無は「新しく土地（建築条件なし）を取得」した人が48.1%でトップ。建て替えの割合は19.5%。

◇建築者（全国）の一次取得と建て替えの構成はおおむね4：1。

### 土地取得の有無 建築者（全国）



※既存の住居を解体し、新しく建て替える以外の住宅

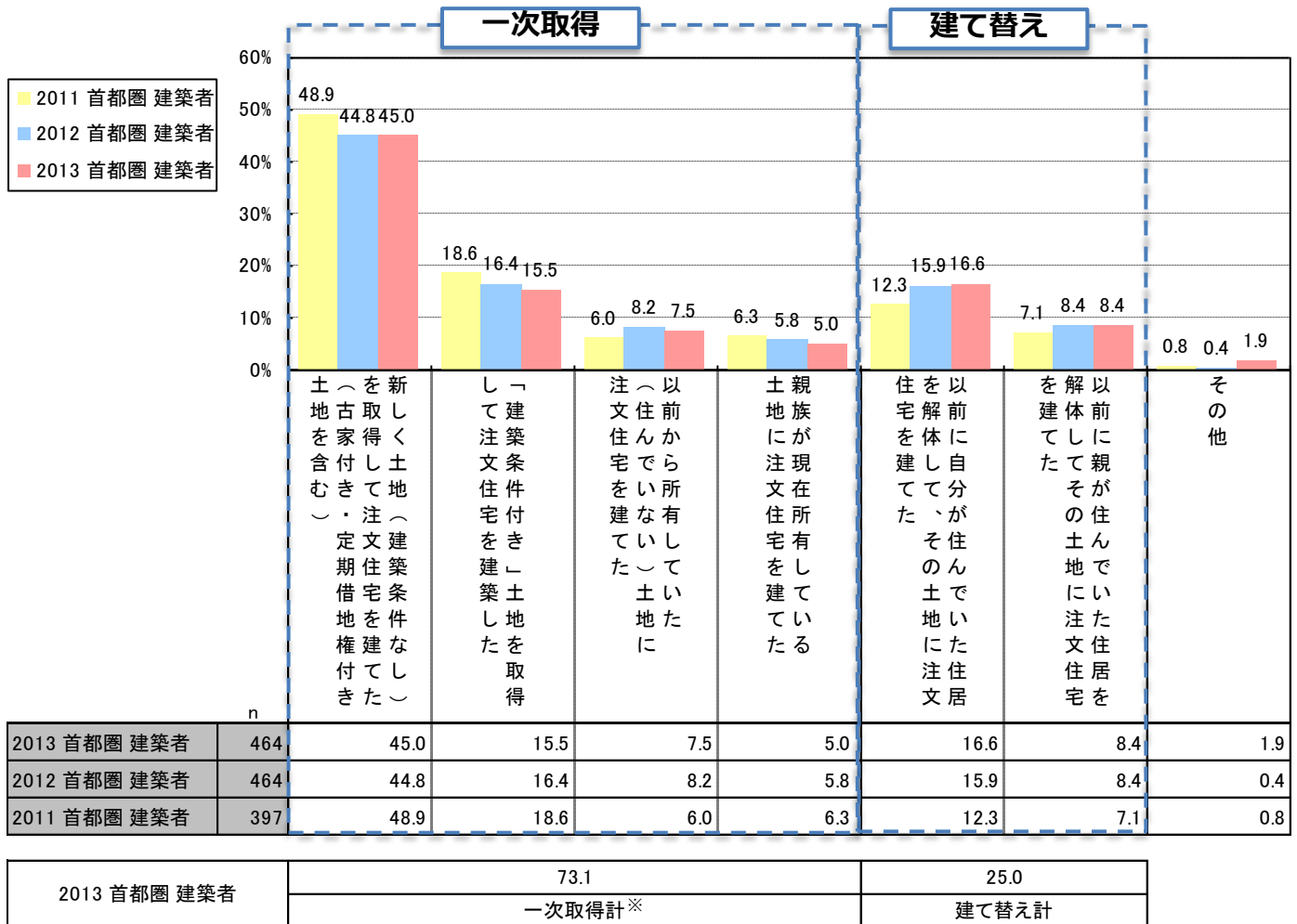
## 5-2 新居を建築した土地について <建築者（首都圏）>

●建築者（首都圏）の土地取得の有無は「新しく土地（建築条件なし）を取得」した人が45.0%と対前年で横ばい。  
 建て替えの割合は25.0%と対全国で5.5ポイント多い。

◇建築者（首都圏）の一次取得と建て替えの構成はおおむね3：1。

### 土地取得の有無 建築者（首都圏）

【単一回答】



※既存の住居を解体し、新しく建て替える以外の住宅

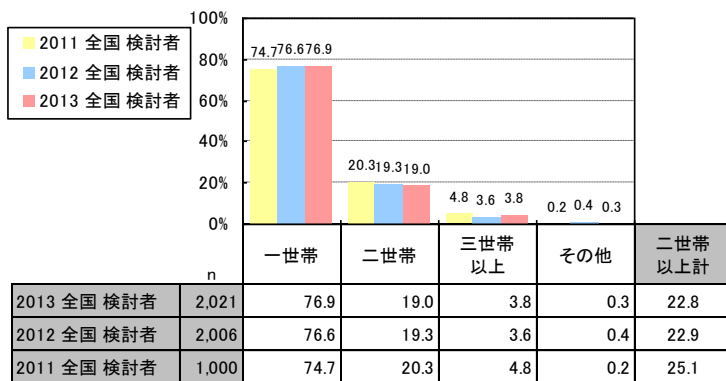
## 6 同居する世帯について <検討者（全国）／検討者（首都圏）>

- 検討者（首都圏）における多世帯住宅の検討割合は25.1%。
- 検討者（全国）の多世帯住宅の検討理由は1位「親の老後のことを考えたから」（50.7%）、2位「家が老朽化したから」（27.4%）。3位の「同居することで子どもの面倒を見てもらえるから」（24.6%）は対前年で4.6ポイントの上昇。

◇検討者（全国）における多世帯住宅の検討割合は22.8%と対前年でほぼ横ばい。

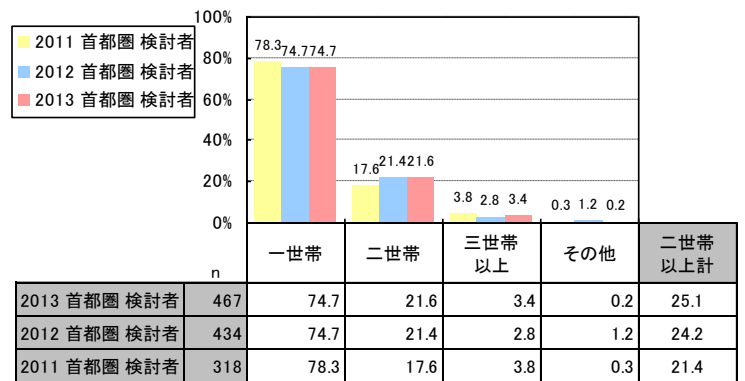
### ①同居する世帯の割合 検討者（全国）

【単一回答】



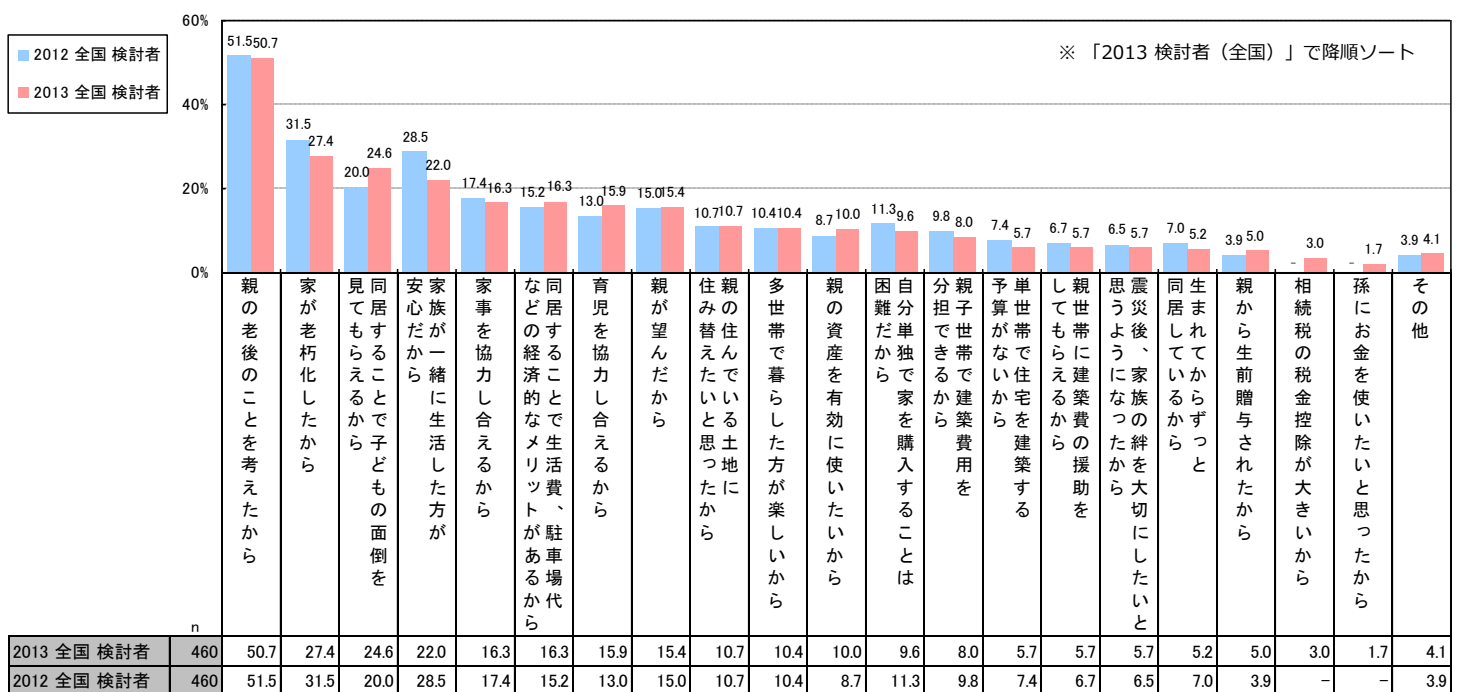
### ②同居する世帯の割合 検討者（首都圏）

【単一回答】



### ③多世帯住宅の検討理由 検討者（全国）

【複数回答】



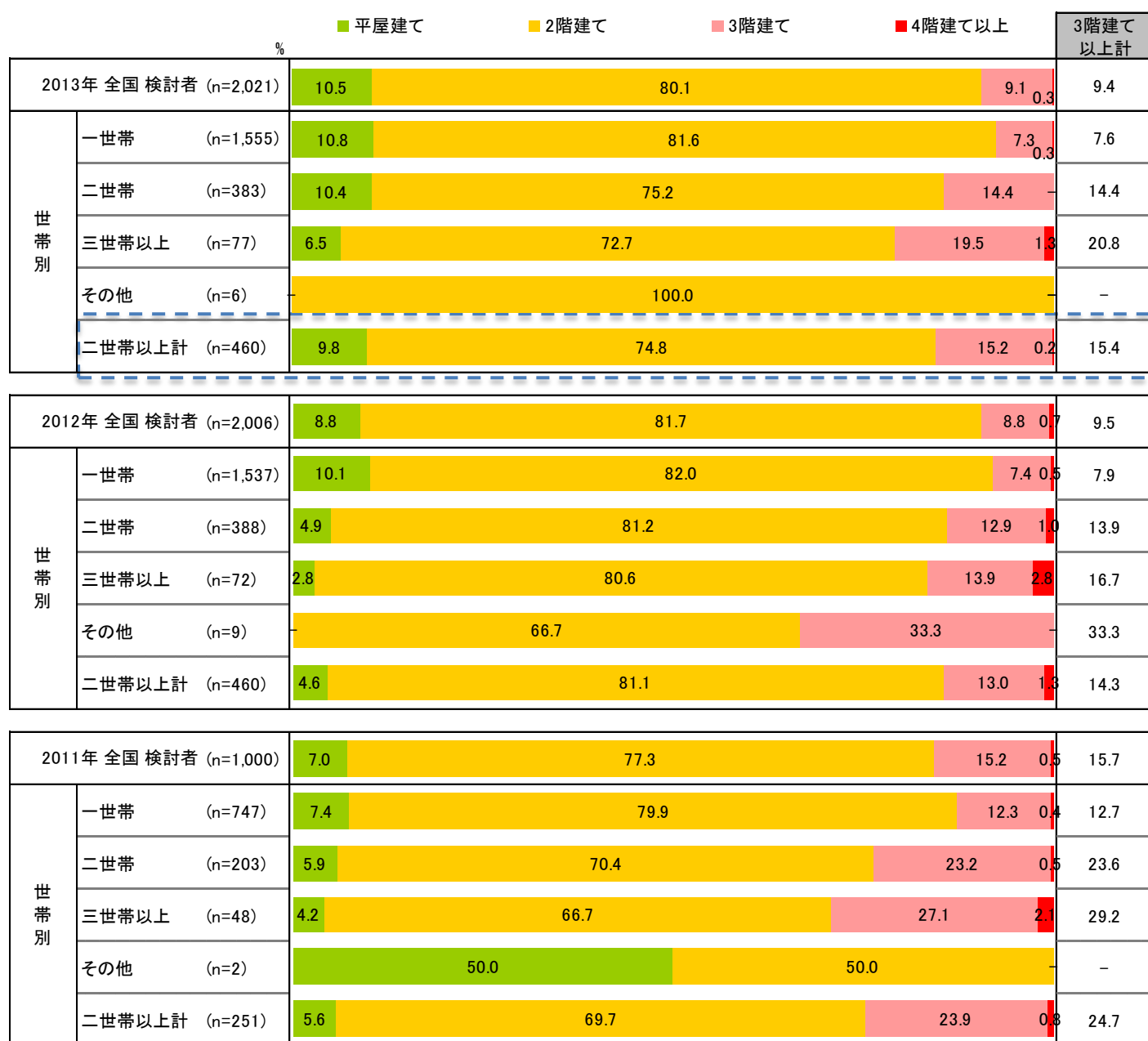
※多世帯住宅検討者

## 7-1 多世帯住宅・多層階の住宅について <検討者（全国）>

● 検討者（全国）のうち、多世帯住宅検討者における3階建て以上の住宅検討割合は15.4%。一住居あたりの同居世帯が増えるほど多層階の住宅検討率が高い。

### ①一住居あたりの世帯数と住居階数の割合 検討者（全国）

【単一回答】

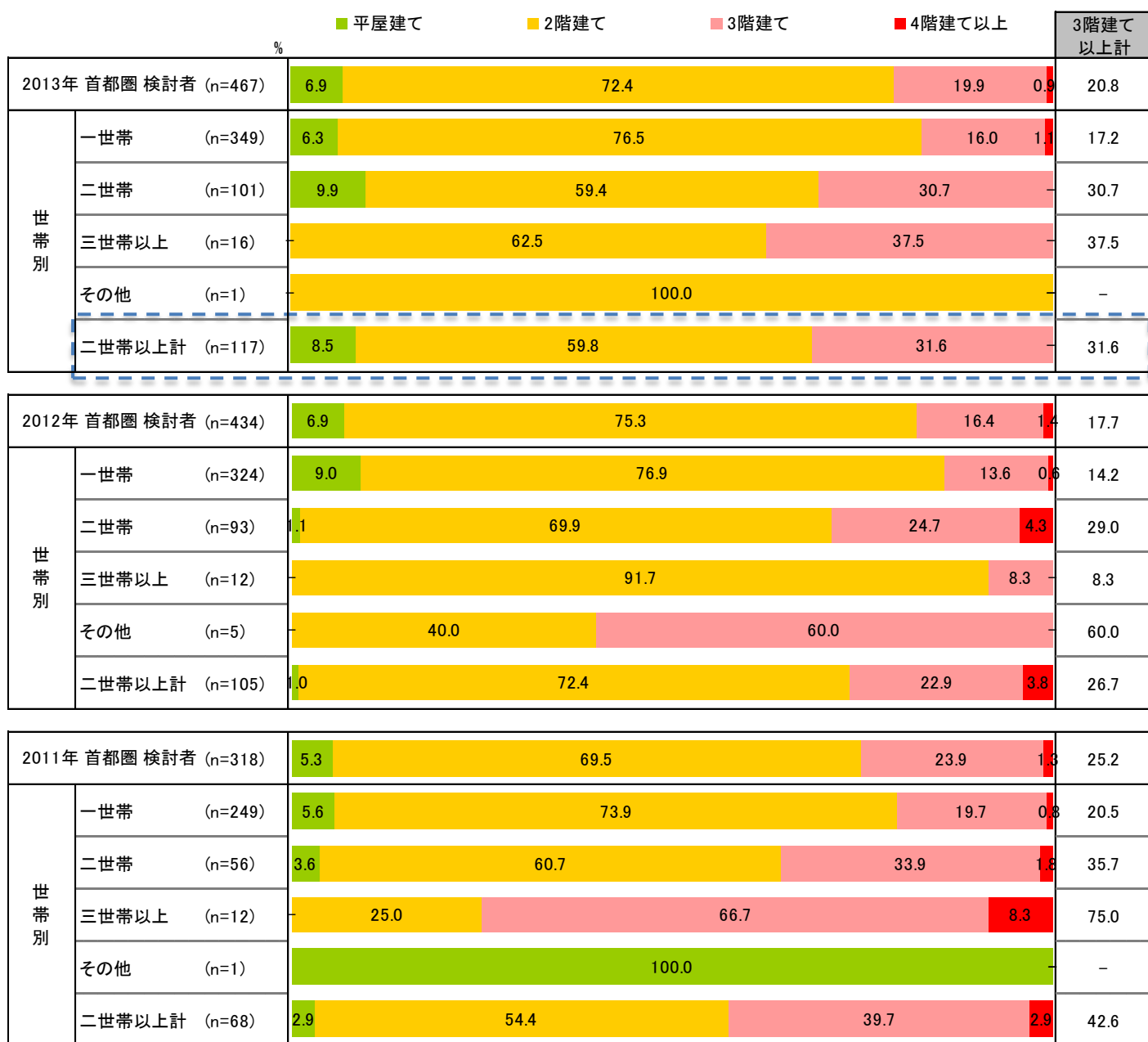


## 7-2 多世帯住宅・多層階の住宅について <検討者（首都圏）>

● 検討者（首都圏）のうち、多世帯住宅検討者における3階建て以上の住宅検討割合は31.6%。首都圏においても一住居あたりの同居世帯が増えるほど多層階の住宅検討率が高い。対前年では4.9ポイントの上昇。

### ②一住居あたりの世帯数と住居階数の割合 検討者（首都圏）

【単一回答】

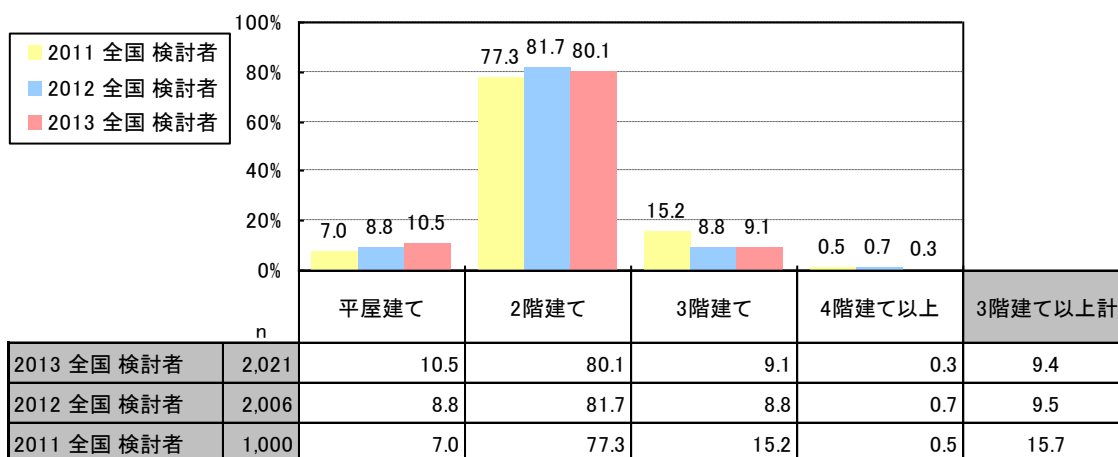


## 8 新居の階数について <検討者（全国）／検討者（首都圏）>

- 検討者（全国）における3階建て以上の割合は9.4%と対前年ではほぼ横ばい。
- 検討者（首都圏）における3階建て以上の割合が20.8%と対全国で11.4ポイント高い。

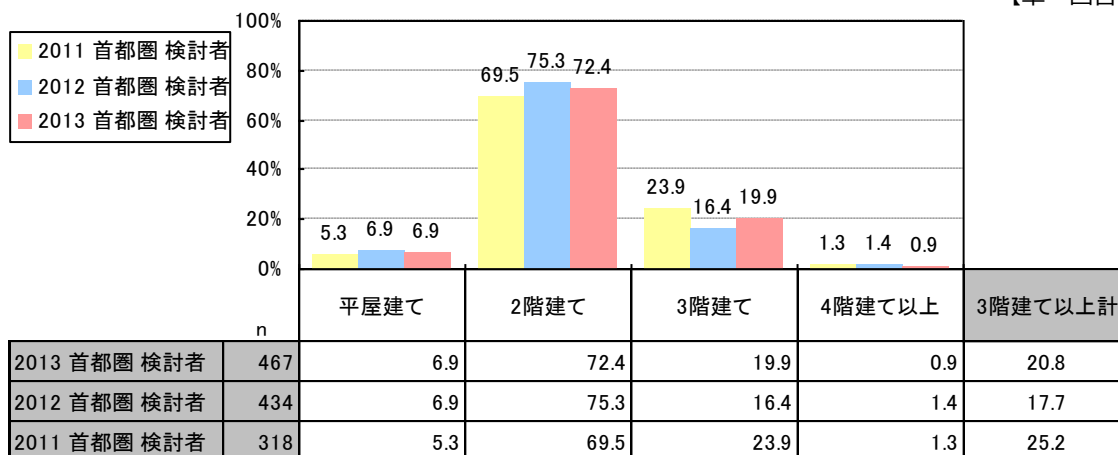
### ①新居の階数の割合 検討者（全国）

【単一回答】



### ②新居の階数の割合 検討者（首都圏）

【単一回答】



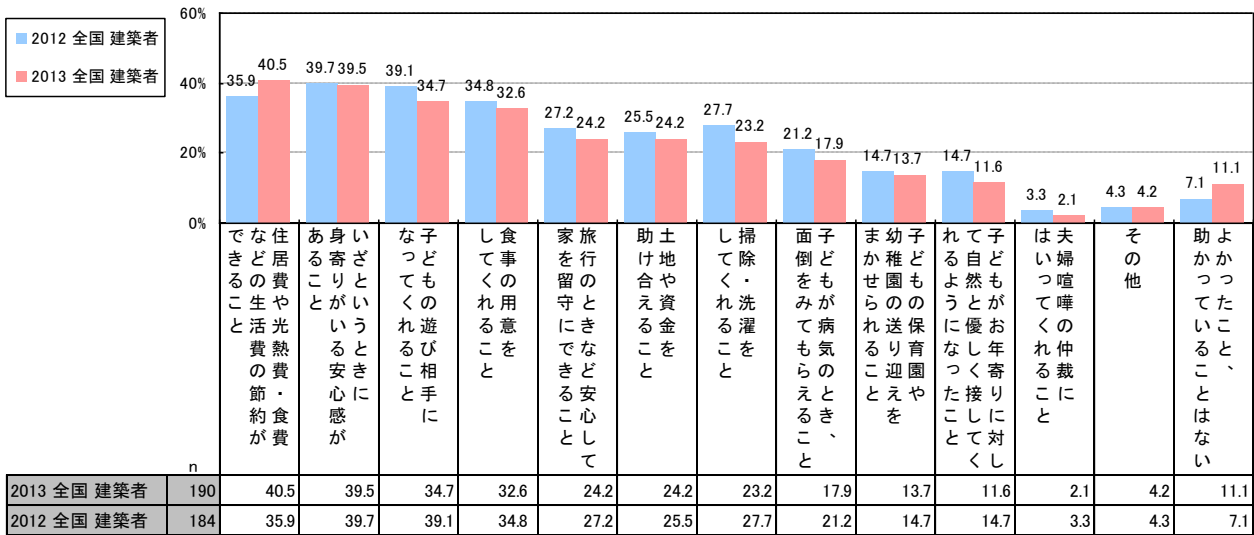
## 9 多世帯住宅のメリット <建築者（全国・多世帯住宅）>

- 建築者（全国・多世帯住宅）の子世帯側の同居のメリットは  
1位「住居費や光熱費・食費などの生活費の節約」（40.5%）、  
2位「身寄りがある安心感」（39.5%）、3位「子どもの遊び相手  
になってくれる」（34.7%）。
- 建築者（全国・多世帯住宅）の親世帯側の同居のメリットは、  
「子世帯の食事づくりや孫の世話をすることで、生活に張り合いが  
出て暮らしが生き生きとする」が24.2%。対前年で18.7ポイント  
の上昇。

### ①子世帯側のメリット 建築者（全国・多世帯住宅）

【複数回答】

※「2013 建築者（全国・多世帯住宅）」で降順ソート

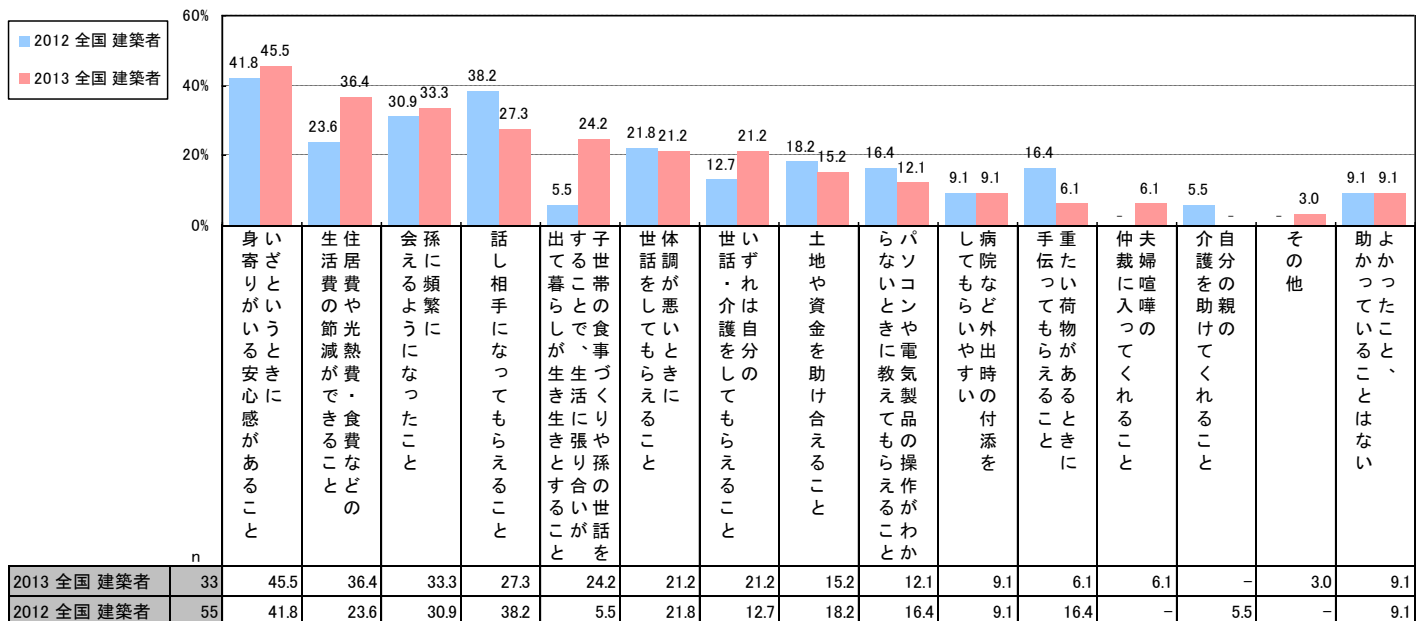


※多世帯住宅の同居者のうち、子世帯（世帯主）の立場の者

### ②親世帯側のメリット 建築者（全国・多世帯住宅）

【複数回答】

※「2013 建築者（全国・多世帯住宅）」で降順ソート



※多世帯住宅の同居者のうち、親世帯（世帯主）の立場の者

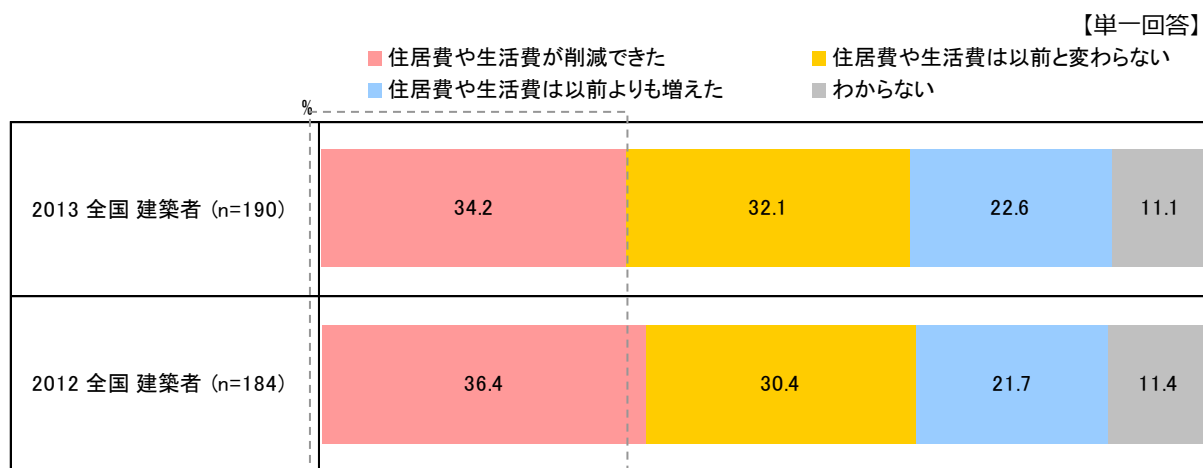


## 10 多世帯住宅での経済的影響 < 建築者（全国・多世帯住宅） >

- 建築者（全国・多世帯住宅）のうち、「住居費や生活費が削減できた」子世帯は**34.2%**。
- 「削減できた」と答えた子世帯の**平均削減金額は、住居費で24,942円、食費で15,908円。** ※平均額は0円を含んだ額

◇子世帯においては「住居費や生活費が削減できた」（34.2%）が「住居費や生活費は以前よりも増えた」（22.6%）を上回り、多世帯住宅を建築することで負担が削減できた世帯の方が多い。

### 多世帯住宅（子世帯側）での経済的影響 建築者（全国・多世帯住宅）



※多世帯住宅の同居者のうち、子世帯の立場の者

【数値自由回答】

※「2013 建築者（全国・多世帯住宅）」で降順ソート

■削減金額	平均金額(円/月)	
	2013 全国 建築者 (n=65)	2012 全国 建築者 (n=67)
1 住居費	24,942円	25,142円
2 食費	15,908円	17,269円
3 光熱費	10,292円	12,104円
4 駐車場代	4,989円	3,075円
5 服飾費	1,708円	3,254円
6 趣味・レジャー費	1,477円	2,448円
7 教育費・保育費	708円	5,231円
8 その他	14,722円	1,507円

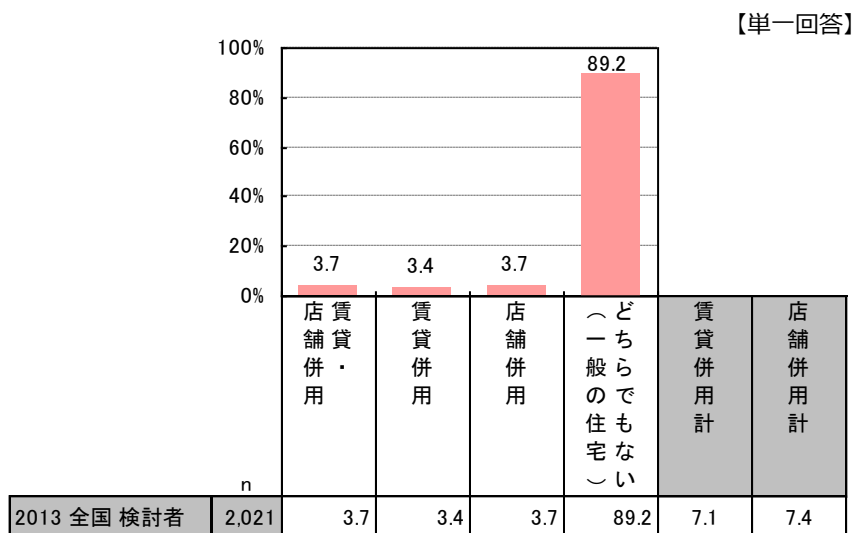
※「住居費や生活費が削減できた」者ベース

2013年 「その他」の具体例

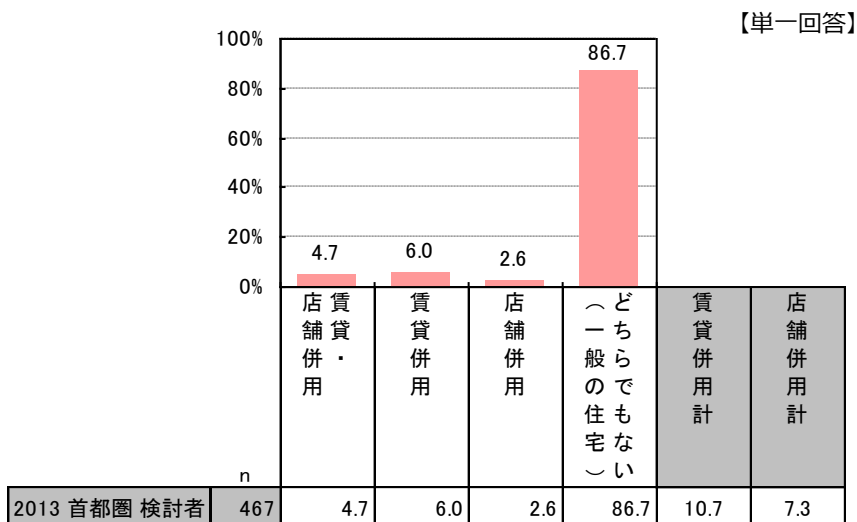
新聞代 ¥4,500  
交際費 ¥30,000  
ガソリン代 ¥30,000 等

●検討者（全国）において賃貸併用住宅を検討している割合は7.1%。  
 検討者（首都圏）において賃貸併用住宅を検討している割合は10.7%。

①賃貸併用・店舗併用住宅の割合 検討者（全国）



②賃貸併用・店舗併用住宅の割合 検討者（首都圏）



## 12 スマートハウスの認知率・導入意向 <建築者（全国）／検討者（全国）>

- スマートハウスの認知率は、**建築者（全国）・検討者（全国）ともに90%を超え増加傾向。**
- 検討者（全国）におけるスマートハウス認知者のうち、導入を「決めた+検討している計」は50.7%と前年とほぼ同値。
- 建築者（全国）におけるスマートハウス認知者のうち、「**導入した**」は**13.5%**。

### ①スマートハウス認知率 建築者（全国）／検討者（全国）

【単一回答】

年次	対象者	認知率 (%)			認知計 (%)
		内容まで知っている	名前だけは知っている	名前も知らない	
2013	全国 建築者 (n=2,013)	28.3	65.0	6.7	93.3
2012	全国 建築者 (n=2,015)	26.5	61.2	12.3	87.7
2011	全国 建築者 (n=1,614)	9.1	26.4	64.5	35.5
2013	全国 検討者 (n=2,021)	25.2	66.1	8.7	91.3
2012	全国 検討者 (n=2,006)	30.6	56.3	13.2	86.8
2011	全国 検討者 (n=1,000)	14.5	31.8	53.7	46.3

### ②導入検討状況 検討者（全国）

【単一回答】

年次	対象者	検討状況 (%)				導入を決めた+検討している計 (%)
		導入を決めた	検討している	検討したがやめた	全く検討していない	
2013	全国 検討者 (n=1,845)	5.9	44.8	9.8	39.5	50.7
2012	全国 検討者 (n=1,742)	3.2	48.9	11.5	36.5	52.0
2011	全国 検討者 (n=463)	2.4	40.4	17.5	39.7	42.8

※スマートハウスの「名前だけは知っている」、「内容まで知っている」者

### ③導入実施状況 建築者（全国）

【単一回答】

年次	対象者	導入した	検討したがやめた	全く検討していない
2013	全国 建築者 (n=1,879)	13.5	23.9	62.6

※スマートハウスの「名前だけは知っている」、「内容まで知っている」者

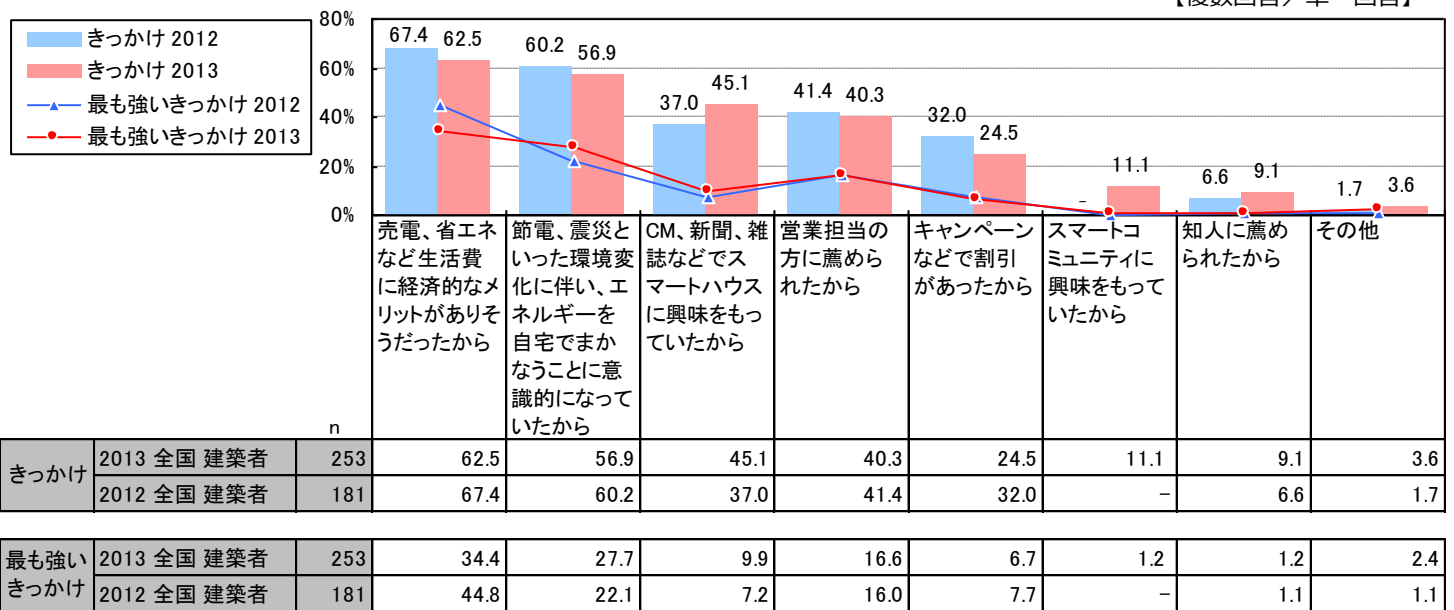
# 13 スマートハウス検討のきっかけ <建築者（全国）>

● **建築者（全国）**におけるスマートハウス導入検討のきっかけは、  
**1位「売電、省エネなど生活費に経済的なメリットがありそうだったから」（62.5%）**、  
**2位「エネルギーを自宅でもかなうことを意識」（56.9%）**、  
**3位「CM、新聞、雑誌などで興味をもっていた」（45.1%）**。

◇「CM、新聞、雑誌などで興味をもっていた」が45.1%で3位であるが、対前年で8.1ポイントの上昇。

## スマートハウス検討のきっかけ 建築者（全国）

【複数回答／単一回答】



※スマートハウスを「導入した」者

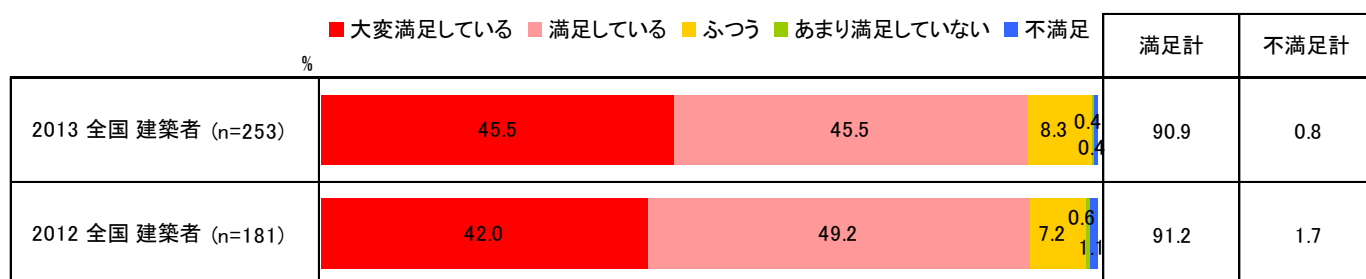
※「2013 建築者（全国）」で降順ソート

- 建築者（全国）におけるスマートハウス建築者のうち90.9%は満足しており、ほぼ前年と横ばい。
- 満足している理由のトップは「経済的なメリットを感じられるようになったから」（73.0%）。

◇満足した理由は、「経済的なメリットを感じられるようになったから」（73.0%）が最多となっている。  
 経済的なメリットは光熱費で平均10,030円、その他で平均5,500円と回答されている。  
 ※平均額は0円を除いた額

### ①スマートハウスの満足度 建築者（全国）

【単一回答】

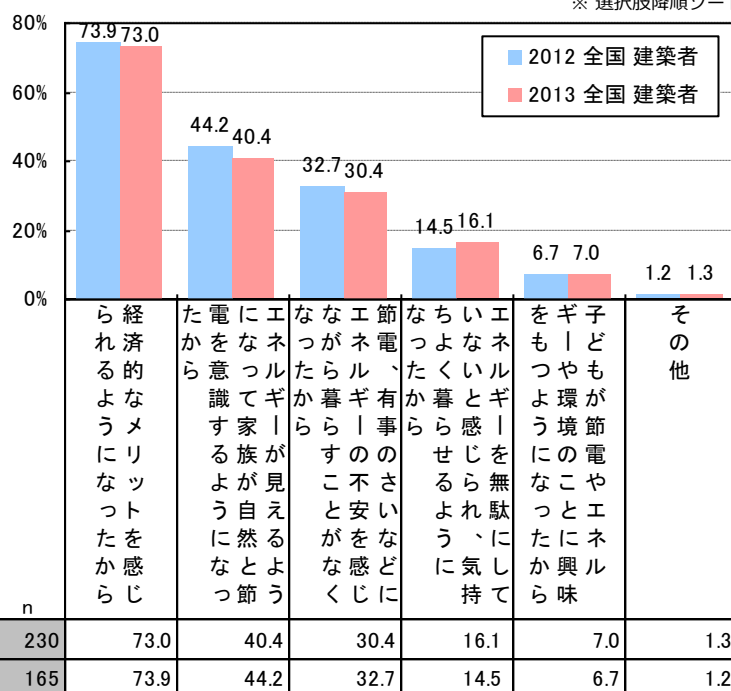


※建築した住宅がスマートハウスである者

### ②スマートハウスの満足理由 建築者（全国）

【複数回答】

※ 選択肢降順ソート



※建築したスマートハウスに「大変満足している」、「満足している」者

### ③経済的メリット（全国建築者）

【数値自由回答】

経済的なメリット (n=)	光熱費 (円) 平均	その他 (円) 平均
168	(n=165) 10,030	(n=4) 5,500
122	(n=116) 12,545	(n=53) 7,665

※建築したスマートハウスに「経済的メリットを感じている」者

※記入のあった者のみの平均額

# 注文住宅情報誌ラインナップ

リクルート住まいカンパニーが企画・運営する、SUUMOブランドの情報誌メディアのご紹介です

## HOUSING

大手ハウスメーカーの情報が満載。はじめての家づくりを応援します



## SUUMO注文住宅

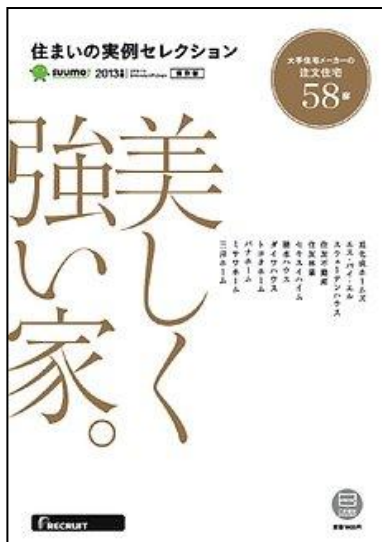
地元の住宅メーカー・工務店の最新情報をお届けします



SUUMO注文住宅 東京で建てる  
 SUUMO注文住宅 千葉で建てる  
 SUUMO注文住宅 神奈川で建てる  
 SUUMO注文住宅 埼玉で建てる  
 SUUMO注文住宅 茨城で建てる  
 SUUMO注文住宅 群馬で建てる  
 SUUMO注文住宅 栃木で建てる  
 SUUMO注文住宅 大阪で建てる  
 SUUMO注文住宅 京都・滋賀で建てる  
 SUUMO注文住宅 兵庫で建てる  
 SUUMO注文住宅 東海で建てる  
 SUUMO注文住宅 三重で建てる  
 SUUMO注文住宅 岐阜で建てる  
 SUUMO注文住宅 北海道で建てる  
 SUUMO注文住宅 みやぎで建てる  
 SUUMO注文住宅 広島・岡山で建てる  
 SUUMO注文住宅 福岡・佐賀で建てる

## プレミアムムックシリーズ

大手ハウスメーカーの実例を凝縮



地元の建築会社の実例を多数掲載



## SUUMO (WEB)

豊富な実例・会社情報から、希望条件にあうリフォーム会社を紹介



<http://suumo.jp/>